

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	年々利用者様の重度化において、医療面(看取りケア)に対してのご利用者、ご家族のニーズが高まってきている。ご家族に対して看取りに対しての当事業所で行える看取りケアの範囲を明確にする必要がある。又現状としては看取りケアを行う上での環境(ソフト面、ハード面)が整備されていない。	看取りの時期を迎えても、住み慣れたグループホームで生活を続け、終末期をみんなに囲まれて終える事ができる看取りケアを確立していく。	①全利用者の家族に看取りに対しての意識、意向を確認する。(アンケート調査又は家族会の議題として提案。) ②家族のニーズを職員会議内で報告、周知し、ニーズに対して職員の意識(夜間帯の負担など)を確認。 ③必要性が高ければ職員を中心に看取りケア推進委員会を設立していく。(自主性)※推進委員が決まれば委員を中心に看取りケアに必要な事(ソフト面、ハード面)を分析し課題に対して環境を整えて行く。※ハード面では、協力医療機関との連携強化や訪問看護ステーションとの連携を図る。	6ヶ月
2	35	日中は災害は、隣接する他事業所(ディサービス、保育園)と連携を図ることで、人員の確保が出来て、迅速かつ安全に避難が行える。しかし夜間帯は当事業所だけの運営時間になる為に他事業所との連携が図れず避難が遅れる危険性がある。地域との協力体制も明確には図れていない。	災害時、夜間帯であってもご利用者様の人命を守っていく。	①運営推進会議を通じて委員に避難協力の要請を行う。又災害時の緊急通報システムを活用してその委員に連絡がいくように依頼していく。 ②緊急通報登録の見直し。 ③地域の自主防災隊の活動に参加して地域との連携を深めていく。※地域資源を周知する。	2ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。